

第37期第2回理事会議事録

日時：2023年10月7日(土)13:30～16:00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス14号館801教室

出席者：(理事)開沼泰隆, 葛山康典, 船木謙一, 翁嘉華, 金子勝一, 倉田久, 谷水義隆,
中川慶一郎, 蓮池隆, 堀川三好, 宗澤良臣, 降旗徹馬
(監事)滝聖子, 皆川健多郎

欠席者：(理事)赤木宏匡

議決事項

1. 入会の件

会員担当理事より, 資料(HST20231007-1)に基づき, 正会員3件, 賛助会員1件, 賛助個人会員1件, 学生会員7件, 合計12件の入会の提案があり, 全会一致で承認された。

2. MoU継続の件

国際・渉外担当理事より, 資料(WJH20231007-1)に基づき, ConComと日本マテリアルフロー研究所とのMoUの継続について提案がなされた。ConComとのMoUは先方からの依頼が条文に記載されているのみで本学会のメリットが確認できないことから, MoUではなく, 先方からの依頼状で対応するべきとの意見があり, 先方と交渉することになった。日本マテリアルフロー研究所とのMoUは第4条に競合する事業を禁止する旨が記されており, 連携事業の定義・範囲もあいまい、あるいは広範であるので本学会の活動が著しく制限される恐れがあることから, 条文を改訂する方向で先方と交渉することになった。

3. 大学院生国際会議等研究発表奨学金実施細則の件

国際・渉外担当理事より, 資料(WJH20231007-2)に基づき, 大学院生国際会議等研究発表奨学金実施細則の制定が提案された。第6条(応募資格)の「在籍する大学院生の指導教員(専任の准教授・教授に限る)」の部分「在籍する大学院生の指導教員(専任の講師・准教授・教授に限る)」と修正することと2024年より実施するという付則を追加することを条件に全会一致で承認された。

承認後, 細則の制定に先立ち, すでに募集が締め切られた大学院生国際会議等研究発表奨学金の応募状況が報告され, 応募時に本学会会員であることが条件になっているが, 入会日は理事会承認日であり, 応募条件を満たさなくなるが, 今回は募集案内が遅れたことを考慮し, 付則をもうけたうえで本年度は審査対象とすることが会長より提案があり, 承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. EBSCOからの学術論文データベース収録の依頼の件

編集担当理事より, 資料(KRH20231007-1)に基づき, EBSCOからの学術論文データベース収録依頼を受諾する提案がなされ, 論文誌の収録を受諾することが全会一致で承認された。なお,

経営システム誌については会員サービスとして会員限定という認識があることから、今回は経営システム誌の収録は見送り、経営システム誌担当理事に検討を依頼することになった。

2. 情報共有クラウド・ストレージの件

庶務担当理事より、資料(FHT20231007-1)に基づき、本会の情報共有クラウド・ストレージとしてMicrosoft 365 Business Basic 1アカウントの契約が提案され、全会一致で承認された。まずは理事会の情報共有から始めることとし、アクセス権管理の明確化、事務局が保有しているファイルを調べ、必要に応じて共有ストレージにアップすることが要請された。

3. 学会Webサイト内の古いページの件

庶務担当理事より、資料(FHT20231007-2)に基づき、本会Webサイトの古いページの一覧が報告され、各委員会で会務担当発信分のWebページにつき、要・不要を検討し、検討結果は庶務担当が作成する連絡フォーマットファイルに記載し、広報委員会へ報告することとなった。

4. その他

なし

報告事項

1. 退会の件

会員担当理事より、資料(HST20231007-2)に基づき、正会員8件、学生会員2件、合計8件の退会が報告された。

2. CIIEとのMoU締結の件

国際・渉外担当理事より、資料(WJH20231007-3)に基づき、CIIEとMoUが締結された旨が報告された。

3. 協賛学会等の件

国際・渉外担当理事より、資料(WJH20231007-4)に基づき、2023年6月24日から9月25日の期間に協賛した学会9件について報告がなされた。

4. インボイス制度への対応の件

葛山副会長より、資料(KYY20231007-1)に基づき、本学会は課税売上高が基準額未満であること、取引先から適格請求書の発行を請求される場面も想定されにくいと、当面の間、免税事業者とすることが報告された。

5. くにびきメッセの経費補助金の件

大会担当理事より、資料(KYY20231007-2)に基づき、2024年度秋大会の会場経費ならびに補助金の見積もりが報告され、多くの会員に参加の呼びかけをするよう要請がなされた。

6. オンライン研究セミナーの件

研究担当理事より、資料(HRK20231007-1)に基づき、オンライン研究セミナーについて、これまでの活動概要と今後の予定が報告された。会長より、第4回オンライン研究セミナーの講演テーマとしてブロックチェーンとサプライチェーンの提案があり、講演者の選定を検討することとなった。

7. 理事会案内等の予定の件

庶務担当理事より、資料(FHT20231007-3)に基づき、今後の理事会開催案内等の予定が報告された。

8. 預かり証の件

開沼会長より、資料(KNY20231007-1)に基づき、第37期における本学会の印鑑(定期預金通帳)、定期預金貸金庫用カードおよび定期預金貸金庫キーの預かり者(保管者)が報告された。

9. 業務執行状況報告の件

開沼会長より、CIEとのMoU締結の件、台湾の国立災害防止科学技術センター、東海大学、逢甲大学を訪問し、本学会との研究交流の件について報告がなされた。葛山副会長より、上記議題の活動報告のほか、一般社団法人への移行にあたって本学会の資産が特定資産に計上されているので、現状では移行が困難である旨が報告された。船木副会長より、産官学連携事業およびMOTセミナーの件、産官学連携委員会の件、および、経営工学3団体の顔合わせの件が報告された。

10. その他

企画・行事担当理事より、9月30日に開催された産学協奏セミナーの参加者が18名であったことが報告された。財務担当理事より、支部の中間決算報告のための準備の要請がなされた。支部担当理事より、支部主催学生論文発表会の著作権について確認した結果が報告された。研究担当理事より、横幹連合での本学会会員の活動が活発であることが報告された。

議 長 開沼 泰隆 印

議事録署名人 滝 聖子 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印